

ESD推進ネットワーク全国フォーラム2020

「ESDを通じた授業づくりと地域連携」

令和2年12月19日

全国小中学校環境教育研究会
多摩市立南鶴牧小学校
校長 関口 寿也

1 新学習指導要領（小学校 R2～、中学校 R3～、高等学校 R4～）

学校で学んだことが、子供たちの「生きる力」となって、明日に、そしてその先の人生につながってほしい。

これからの社会が、どんなに変化して予測困難な時代になっても、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現してほしい。

そして、明るい未来を、共に創っていきたい。

2020年度から始まる新しい「学習指導要領」には、そうした願いが込められています。

これまで大切にされてきた、子供たちに「生きる力」を育む、という目標は、これからも変わることはありません。

一方で、社会の変化を見据え、新たな学びへと進化を目指します。

生きる力 学びの、その先へ

新しい「学習指導要領」の内容を、多くの方々と共有しながら、子供たちの学びを社会全体で応援していきたいと考えています。

1 新学習指導要領

(1)何ができるようになるか

新しい時代に必要となる
資質・能力の育成

社会に開かれた教育課程

(3)何を学ぶか

教科・科目の新設や
目標・内容の見直し

(2)どのように学ぶか

主体的・対話的で深い学び
(学習過程の質的改善)

1 新学習指導要領

社会に開かれた教育課程 とは？

- 学校教育を通じて、
よりよい**社会を創る**という目標の共有
- 社会と**連携・協力**しながら
- **未来の創り手**としての資質・能力の育成
- カリキュラム・マネジメントによる協働

1 新学習指導要領

(1)何ができるようになるか

新しい時代に必要となる
資質・能力の育成

社会に開かれた教育課程

(3)何を学ぶか

教科・科目の新設や
目標・内容の見直し

(2)どのように学ぶか

主体的・対話的で深い学び
(学習過程の質的改善)

1 新学習指導要領

何ができるようになるの？（資質・能力の三つの柱）



1 新学習指導要領

(1)何ができるようになるか

新しい時代に必要となる資質・能力の育成

学びを**人生や社会に生かそう**とする
学びに向かう力・人間性の涵養

評価の3要素

生きて働く知識・技能の習得

未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力等の育成

1 新学習指導要領

(2)どのように学ぶか

主体的・対話的で深い学び

- 習得・活用・探究の過程の中で、学習内容を深く理解
- 他者との協働や外界との相互作用により、自らの考えを広げ深める
- 見通しをもって粘り強く取り組み、学習活動を振り返って次につなげる
- 高等学校「総合的な探究の時間」
- 学習過程の質的改善

1 新学習指導要領

(3)何を学ぶか

教科・科目の新設や目標・内容の見直し

- 外国語活動、道徳の教科化
- 資質・能力を明確化
- 目標・内容を構造的にする
- 内容の削減は行わない
- キャリア・パスポート



- ・ 知識・技能の量はそのままに、より活用できる力を身に付ける
- ・ 「できるようになった」「賢くなった」というメタ認知

1 新学習指導要領

(1)何ができるようになるか

新しい時代に必要となる
資質・能力の育成

当然評価についても、**継続的な学習**により育成できた**資質・能力**について表記する必要がある(総合、外国語、道徳含)。

社会に開かれた教育課程

(3)何を学ぶか

教科・科目の新設や
目標・内容の見直し

(2)どのように学ぶか

主体的・対話的で深い学び
(学習過程の質的改善)

1 新学習指導要領

赤字で示したところを列挙すると

社会を創る 連携・協力 未来の創り手

人生や社会に生かそう 生きて働く

未知の状況にも対応

習得・活用・探究の過程

他者との協働や外界との相互作用

見通し 振り返って 質的改善 活用できる力

なぜこれらが必要なのか？

1 新学習指導要領

Keyword に隠れる今日的課題

教師が、1人ですべてを語る自信はおあり？

【日本では】

気候変動、エネルギー問題（原発、石炭火力）、フードロス、海洋プラスチック、限界集落、教育格差、年金問題、少子高齢化、非正規雇用、新型コロナウイルス…

【世界では】

気候変動、エネルギー問題（再生可能エネルギー）、海面上昇、食糧自給問題、人種・宗教問題、森林火災、砂漠化、AI、伝染病、テロ、水、貧困、中東危機、新型コロナウイルス…

➡ これからどうなるのか予想が困難な世界

1 新学習指導要領

赤字で示したところを列挙すると

社会を創る 連携・協力 未来の創り手
人生や社会に生かそう 生きて働く
未知の状況にも対応
習得・活用・探究の過程
他者との協働や外界との相互作用
見通し 振り返って 質的改善 活用できる力

これらのWordから連想できることは・・・

1 新学習指導要領

赤字で示したところを列挙すると

社会を創る 連携・協力 未来の創り手
人生や社会に生かそう 生きて働く
未知の状況にも対応
習得・活用・探究の過程
他者との協働や外界との相互作用
見通し 振り返って 質的改善 活用できる力

これらのWordから連想できることは・・・ESD

2 ESDとわたしたち

Phase Change 2019.9 国連気候行動サミット



まったくもって間違っている。
私はここにいるべきではない。海の向こうの学校にいるべきだ。

みなさんは私の夢も、私が子どもとして過ごすことも、中身のない言葉で奪ってしまった。それでも私は運のいい方だ。被害を受けている人たちがいる。死につつある人たちがいる。生態系全体が崩壊しつつある。私たちは大量絶滅のとば口にいる。

でも、みなさんが口にする事と言えば、お金のことと、経済成長は永遠に続くというおとぎ話だ。

みなさんは私たちに失望させつつある。

若者は、みなさんが自分たちを裏切っているということを理解し始めている。未来の世代の目はみなさんに注がれている。

もし私たちに裏切ることを選ぶなら言おう、私たちはみなさんがこの問題から逃げることを許さない。

ここで今、一線を画すべき時だ。

世界は目覚めつつある。そして変革は起こりつつある。

グレタ・トゥンベリ

— 高校生の言葉を、どれだけの大人が真摯に受け止めただろう。環境活動家に非ず。

今年は史上3番目以内の暑さ？

2020年は観測史上3番目以内の暑い年になる見通しになった。世界気象機関（WMO）が2日発表した。気温を下げる効果があるラニーニャ現象が起きていたものの、世界各地で高温を記録。地球温暖化の進行を改めて示した形だ。

今年1～10月の気温データを元に予測した。史上最も暑かった16年に迫る暑い年になりそうだ。2011年からの10年は史上最も暑い10年間になり、平均気温の史上上位5年を15年以降が占めるとい

う。特に暑かったのはシベリアの北極圏で、6月には38度を記録するなど平均より5度以上も高かった。森林火災で温暖化の原因となる二酸化炭素（CO₂）の排出も増えた。北極圏の海水は7月、10月で史上最も少なくなった。

地球温暖化対策の国際ルール「パリ協定」は産業革命前からの世界の平均気温上昇を2度未満、できれば1.5度に抑えることを目指すが、WMOによると今年はいくつかの国で1.2度高くなる見通しだ。

（ワシントンポスト）

2 ESDとわたしたち

コロナ禍の中で進む温暖化

2015 COP21 パリ協定

産業革命以降の平均気温上昇を**2.0°C**以内に

2018 IPCC総会(仁川)

特別報告書～地球温暖化を2.0°C以上ではなく、**1.5°C**に抑えることによって、多くの気候変動の影響が回避できる。

2020 世界気象機関(WMO)

2020年1～10月のデータによると、すでに**1.2°C**まできている。 (2020.12.3 朝日)

2030年代半ばまでにガソリン車の新車販売をゼロに (2020.12.4 菅首相)

2 ESDとわたしたち

温暖化は公害

色川 大吉 氏の言葉

(歴史家、東京経済大学名誉教授、不知火海総合学術調査団団長)

「公害が古くさいテーマだなんてことはない。

地球温暖化も核のゴミもプラスチックの海洋投棄も、全て公害。

人類がもたらした罪の解決に向けて、

一人一人が自分の問題として向き合うべきだ。」

(2020.11.13 朝日)

涙から始めた 水俣病研究



歴史家・色川大吉氏 集大成の本



色川大吉さん

歴史家で東京経済大学名誉教授の色川大吉さん(96)が、水俣病研究の集大成として「不知火海民衆史」(播磨社)を自費出版した。10年に及んだ水俣病の調査、そのきっかけは、作家の故・石牟礼道子さんの涙だった。

色川さんは、東京経済大学名誉教授として現職調査団の団長として、85年まで水俣病の認定患者らに、10年に及んだ水俣病の調査、そのきっかけは、作家の故・石牟礼道子さんの涙だった。

色川さんは、東京経済大学名誉教授の色川大吉さん(96)が、水俣病研究の集大成として「不知火海民衆史」(播磨社)を自費出版した。10年に及んだ水俣病の調査、そのきっかけは、作家の故・石牟礼道子さんの涙だった。

「差別に苦しむ患者 悔しさが響いてきた」

調査団として水俣に来ては、もう10年。地元出身で、患者の支援活動に加わっていた石牟礼道子さんから、そう頼まれたという。

「石牟礼さんは涙顔。その顔を見て、こっちはも泣いてきた。(社会学者の故・鶴見)和子さんからも「ここで動かないなんて、義理にも人情にも欠ける」と言われた。鶴見さんらと急ぎ調査団を結成したが、学術調査団といっても「そもそもの動機はエモーショナルなものだった。患者に会って、その思いは深まった。『患者さん一人一人のくやしさが響いてきた。何十年でも息のある限り取り組もうと思った』と振り返る。患者たちへの思いから出た調査の意義とは何だったのか。『各分野から集

まってきた研究者に共通している。地元出身で、患者の支援活動に加わっていた石牟礼さんから、そう頼まれたという。

「公害病の原典」といわれる水俣病。95歳になった今、色川さんはこう話す。「公害が古くさいテーマだなんてことはない。地球温暖化も核のゴミもプラスチックの海洋投棄も、すべて公害。人類がもたらした罪の解決に向けて、一人一人が自分の問題として向き合うべきだ」

今回の著書は、上巻に色川さんが個人で発表した論文、下巻には患者らの聞き書きのほか、自身が受けたインタビューが収録されている。上下巻で計5600円(税込)。問い合わせは、播磨社(042-660-2615)。(書評)

2 ESDとわたしたち

あらためてESD

人類が将来の世代にわたり恵み豊かな生活を確保できるよう、気候変動、生物多様性の喪失、資源の枯渇、貧困の拡大等、人類の開発活動に起因する現代社会における様々な問題を、各人が**自らの問題**として**主体的に捉え**、身近なところから**取り組む**ことで、それらの問題の解決につながる**新たな価値観や行動**等の変容をもたらし、持って持続可能な社会を実現していくことを目指して行う学習・教育活動である。

(持続可能な開発のための教育に関する関係省庁連絡会議より)

2 ESDとわたしたち

あらためてESD

2005～2014 DESD (国連持続可能な開発のための教育の10年)

…持続可能な開発の原則、価値観、実践を教育と学習のあらゆる側面に組み込んでいく

2015～2019 GAP (グローバル・アクション・プログラム)

…ESDの進展のため、(1)政策的支援 (2)様々な機関の包括的取組
(3)教育者の育成 (4)若者の参加支援 (5)持続可能な地域づくり

2020～2030 ESD for 2030

…より公正で持続可能な世界を築くために、ESDを強化し17のSDGs目標を達成することを目標とする

2 ESDとわたしたち

「アジェンダ2030」～より良き将来を実現するために今後15年かけて極度の貧困、不平等・不正義をなくし、私たちの地球を守るための計画。

17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標(SDGs)」



2 ESDとわたしたち

「アジェンダ2030」～より良き将来を実現するために今後15年かけて極度の貧困、不平等・不正義をなくし、私たちの地球を守るための計画。

17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標(SDGs)」

社会

経済

環境、他

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標

1 貧困をなくそう 	2 飢餓をゼロに 	3 すべての人に健康と福祉を 	4 質の高い教育をみんなに 	5 ジェンダー平等を実現しよう 	6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 	8 働きがいも経済成長も 	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 	10 人や国の不平等をなくそう 	11 住み続けられるまちづくりを 	12 つくる責任 つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を 	14 海の豊かさを守ろう 	15 陸の豊かさを守ろう 	16 平和と公正をすべての人に 	17 パートナーシップで目標を達成しよう 	SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です

2 ESDとわたしたち

「アジェンダ2030」～より良き将来を実現するために今後15年かけて極度の貧困、不平等・不正義をなくし、私たちの地球を守るための計画。

17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標(SDGs)」

社会

経済

環境、他

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界を変えるための17の目標

1 貧困をなくそう 	2 飢餓をゼロに 	3 すべての人に健康と福祉を 	4 質の高い教育をみんなに 	5 ジェンダー平等を実現しよう 	6 安全な水とトイレを世界中に 
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 	8 働きがいも経済成長も 	9 産業と技術革新の基盤をつくろう 	10 人や国の不平等をなくそう 	11 住み続けられるまちづくりを 	12 つくる責任 つかう責任 
13 気候変動に具体的な対策を 	14 海の豊かさを守ろう 	15 陸の豊かさを守ろう 	16 平和と公正をすべての人に 	17 パートナーシップで目標を達成しよう 	SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です

何か足りない？


2 ESDとわたしたち

企業は存亡をかけてSDGsに取り組んでいる。

企業取組の潮流

- ＜ダイベストメント（ESG投資）＞
- ＜石炭火力発電の運用停止・新規建造中止＞
- ＜RE100＞
- ＜喫煙対策＞
- ＜フードロス対策＞
- ＜マイクロプラスチック問題＞
- ＜2030年度燃費規制案～ガソリン車新車販売禁＞
- ＜電力会社への期待～再生可能エネルギーは主力電源＞



- (1) SDGsは世界共通言語
- (2) 「ひとごと」から「自分ごと」へといった意識の転換が始まる
- (3) 「企業経営」としての戦略の転換 ～ あと10年で消える職業、AIの台頭

2 ESDとわたしたち

教育は目標4において、**ESD**をもって**SDGs**の他の目標を達成するための有効な手段・方法とする。



2 ESDとわたしたち

教育は目標4において、**ESD**をもって**SDGs**の他の目標を達成するための有効な手段・方法とする。



3 新学習指導要領とSDGs

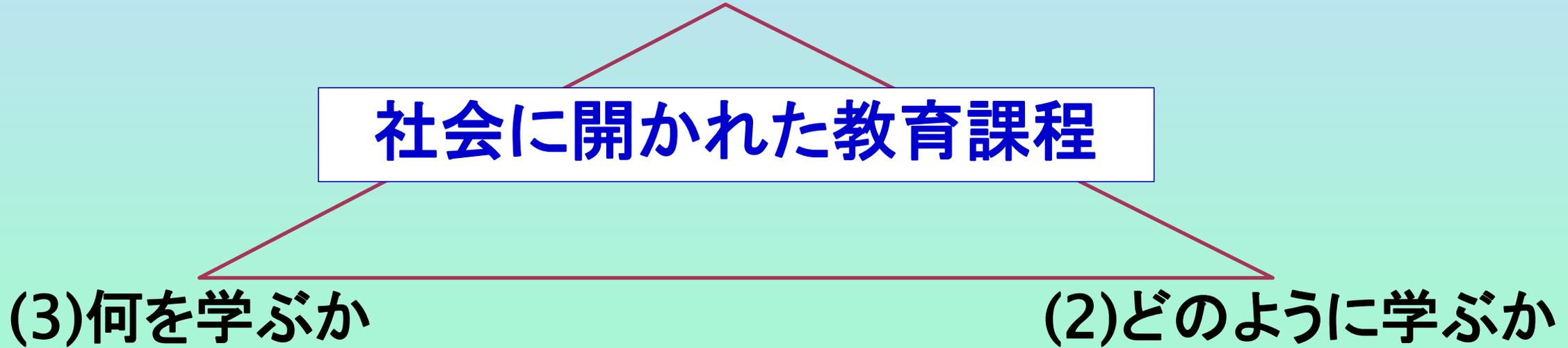
時代に流れるもの・・・国語、算数…教科はあれど

- 戦後教育(40～50年代)
 - ・・・民主主義の形成という大命題
 - 高度経済成長期(60～70年代)
 - ・・・安保闘争、公害問題によるパラダイムシフト
 - 情報化社会(80～90年代)
 - ・・・情報をもつ者が勝者、How To
 - 多様化社会(00～10年代)
 - ・・・新しいツール、情報過多、行き詰まり感、持続可能性への不安
 - 共生社会(20年代～)
 - ・・・地球との共生、生物との共生、人類の共生、人工知能との共生
- 私の幸せ＝みんなの幸せ＝SDGs

教員が、チョーク1本と語りで教壇に立つ時代は終わった

3 新学習指導要領とSDGs

(1)何ができるようになるか



社会に開かれた教育課程

(3)何を学ぶか

(2)どのように学ぶか

3 新学習指導要領とSDGs

(1)何ができるようになるか

SDGsの達成

社会に開かれた教育課程

(3)何を学ぶか

学びの切り口

環境、国際理解、福祉...

学習の
単元内容

(2)どのように学ぶか

ESD

(ESD for 2030)

3 新学習指導要領とSDGs

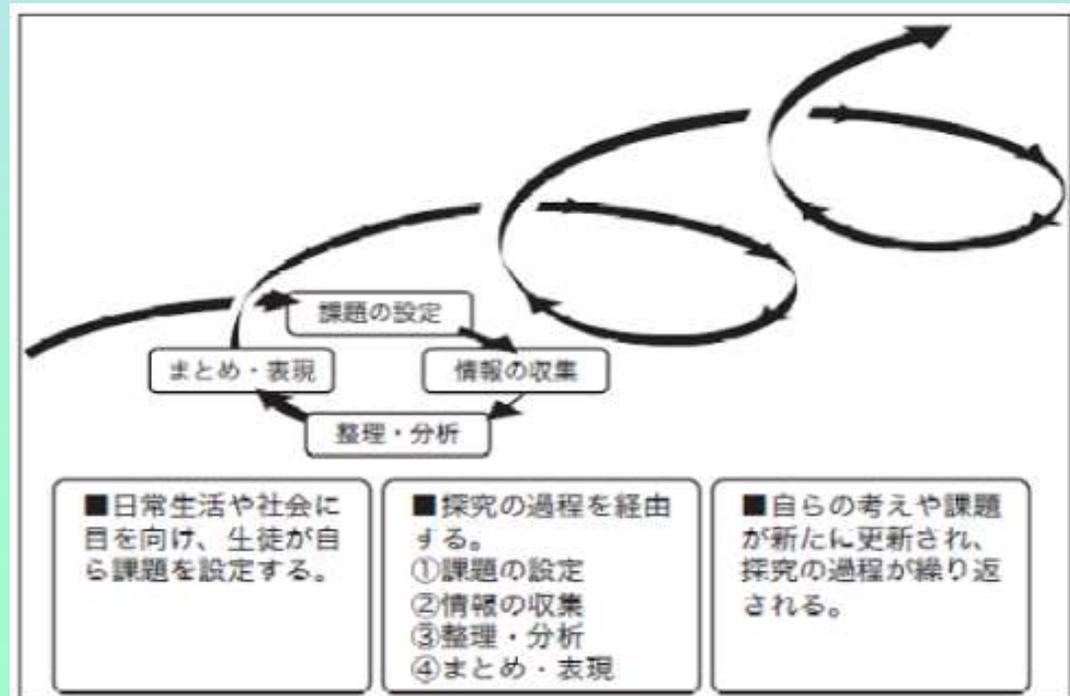
マイクロプラスチック問題に取り組めばESDか？SDGsを達成か？



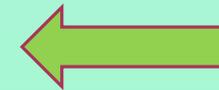
ESDは持続可能な社会を創る人としての資質・能力・態度の育成



SDGsを達成できる人材育成に繋げる



探究活動の図示例
(中学校学習指導要領より)

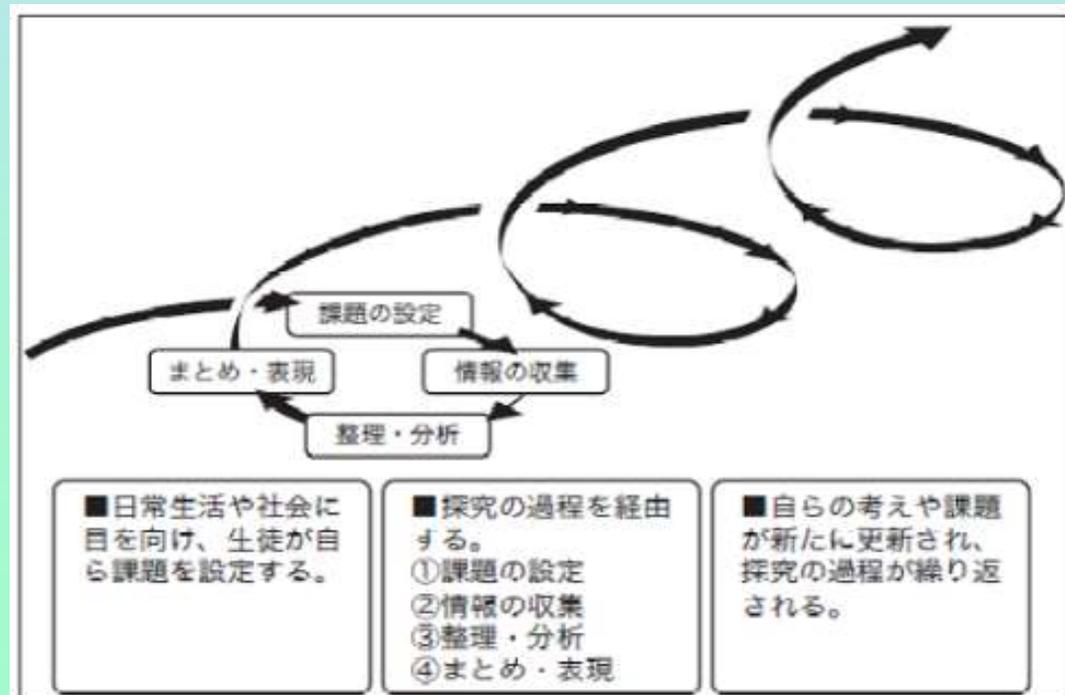


3 新学習指導要領とSDGs

~~マイクロプラスチック問題に取り組みはESDか？SDGsを達成か？~~

ESDは持続可能な社会を創る人としての資質・能力・態度の育成

SDGsを達成できる人材育成に繋げる



探究活動の図示例
(中学校学習指導要領より)



3 新学習指導要領とSDGs

(例) マイクロプラスチック問題に取り組んだとすると…

プラスチックが多用された理由

- 軽量(利用、運搬)
- 丈夫で長持ち
- ラベリング等が自在(消費社会)
- 安価(製造が容易)
- 変幻自在(様々な素材)



消費者目線でのアクション

- 不要なプラスチックはできるだけ手に取らない
- 不要物はリサイクルに回す
- 安易にごみとしない



しかし、生活にあふれるプラスチック

- 包装
- 容器
- 衣服
- 学用品、文具…
- プラスチックの方がエコ!?

3 新学習指導要領とSDGs

(例) マイクロプラスチック問題に取り組んだとすると…

プラスチックが多用された理由

- 軽量(利用、運搬)
- 丈夫で長持ち
- ラベリング等が自在(消費社会)
- 安価(製造が容易)
- 変幻自在(様々な素材)



消費者目線でのアクション

- 不要なプラスチックはできるだけ手に取らない
- 不要物はリサイクルに回す
- 安易にごみとしない



しかし、生活にあふれるプラスチック

- ・ 包装
- ・ 容器
- ・ 衣服
- ・ 学用品、文具…
- ・ プラスチックの方がエコ!?

**マテリアル・ケミカル
リサイクル率25%**

3 新学習指導要領とSDGs

(例) マイクロプラスチック問題に取り組んだとすると…

プラスチックが多用された理由

- 軽量(利用、運搬)
- 丈夫で長持ち
- ラベリング等が自在(消費社会)
- 安価(製造が容易)
- 変幻自在(様々な素材)



消費者目線でのアクション

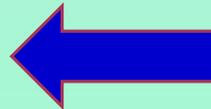
- 不要なプラスチックはできるだけ手に取らない
- 不要物はリサイクルに回す
- 安易にごみとしない



消費者目線を超えた学習活動

- 製造者の立場もプラス
- 社会の在り方も必須
- 私たちの意識と生活の改善

SDGsを達成できる
人材育成



しかし、生活にあふれるプラスチック

- 包装
- 容器
- 衣服
- 学用品、文具…
- プラスチックの方がエコ!?

**マテリアル・ケミカル
リサイクル率25%**

3 新学習指導要領とSDGs

ESDカレンダーによるカリキュラムマネジメント

令和 2 年度 ESDカレンダー 多摩市立南鶴牧小学校 第(6) 学年

	<p>《学校・地域の目指す目標》 パートナーシップで目標を達成しよう ・世界のすべての人がみんな協力しあい、これらの目標を達成しよう</p>	 	<p>《学年で育む資質・能力・態度》 エネルギーをみんなにそしてクリーンに ・すべての人が、安くて安全で現代的なエネルギーをずっと利用できるようにしよう 質の高い教育をみんなに ・気候変動から地球を守るために、今すぐ行動を起こそう</p>
-----------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語							未来がよりよくあるために			自然に学ぶ暮らし		
社会							日本の歴史 近代工業 高度成長と環境問題					
理科		ものの燃え方					電気の性質とその利用				生物と自然環境	
学習の総合的な時間	ECO・エネルギー開発大作戦						未来にやさしいエネルギー					
道徳			自然愛護 海のゆりかご									
家庭			夏をすずしくさわやかに							冬を明るく暖かく		
算数												
外国語 図画 音楽 工作 体育												
特別行事活動							移動教室					

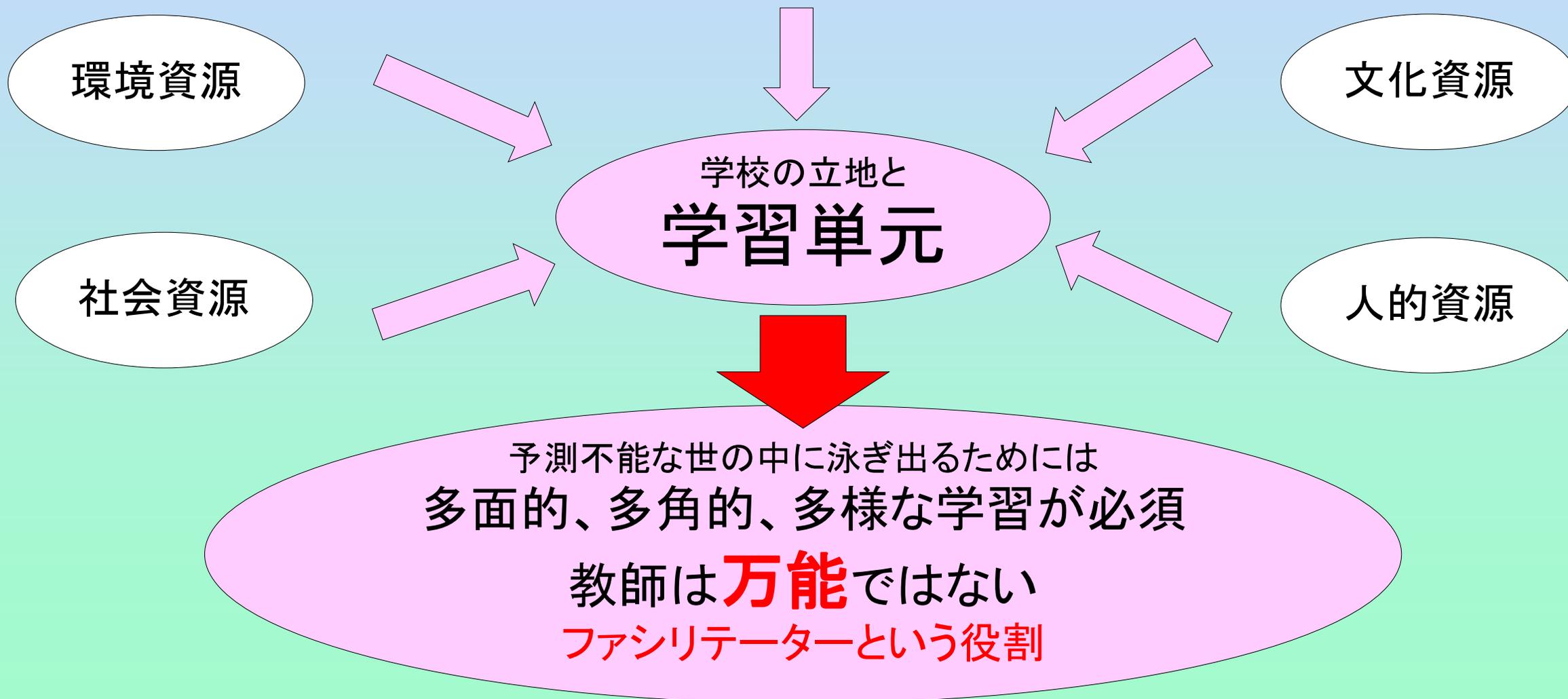
3 新学習指導要領とSDGs

卒業までを見越した児童の育ちの地図

学年	中心となる学習単元	育てる児童の姿
1年	<ul style="list-style-type: none"> ・「がっこうたんけんにいこう・こうえんにいこう」 ・栽培活動・季節単元 ・「えんじとなかよくしよう」 自然・地域・身の回りの人々への関心	①四季の移り変わりに関心をもち、自然に関わったり、自然のもので遊んだりすることを楽しむ。 ②自然・地域・人との関わりの中で、四季の移り変わり、人の営み、自分と地域や人々との関わりなどに気付く。 ③自分の思いや願いを自分なりの言葉で伝えようとする。
2年	<ul style="list-style-type: none"> ・「たんけんにいこう」 ・栽培活動・季節単元 ・「おじいさんおばあさんとなかよくしよう」 自然・地域・身の回りの人々への関心	①四季の移り変わりに関心をもち、進んで栽培活動をしたり、自然に関わったり、自然のもので遊んだりすることを楽しむ。 ②自然・地域・人との関わりの中で、四季の移り変わり、人の営み、自分と地域や人々との関わりなどに気付き、進んで活動につなげていく。 ③自分の思いや願いを伝える相手を意識して、言葉で伝えようとする。
3年	「トライ！トライ！わたしたちにできること」 地域の人とのかかわり	①地域の施設や商店などに関心をもち、地域を好きになる。 ②地域の人々と仲良くなるための計画を考え、やってみる。 ③地域に出かけたりやってみたりして思ったことを言葉にする。
4年	「川は自然の宝物」 生態系・多様性	①多摩川について自分なりの興味・関心を持ち、調べる。 ②多摩川の生態系や多様性に気付く。 ③調べて考えたことを自分なりの言葉で表現する。
5年	「連光寺のSATOYAMAプロジェクト」 生態系・多様性・共生	①地域の里山について興味を持ってテーマを設定し、科学的な方法で追究する。 ②地域の里山の生態系や多様性に気付く。 ③人と自然の「共生」について自分なりの考えを持ち表現する。
6年	「連光寺の歴史探偵」 「ハローワールド」 「だれにも優しいまち」 社会を考える	①地域の歴史や社会保障の在り方に興味を持ってテーマを設定し、地域の施設等を利用して追究する。 ②地域の人々とかかわりながら課題を解決し、調べたことを伝える。 ③社会の中の「共生」について自分なりの考えを持ち表現する。
卒業時の姿	<ul style="list-style-type: none"> ○地域への愛着をもち、地域の一員としての自覚をもっている。 ○環境をよりよくしようとする思いをもっている。 ○学び方を身に付け、生かすことができる。 	
将来の姿	<ul style="list-style-type: none"> ○よりよい社会を人とかかわりながらつくっていかうとする。 ○困難にあたった時、人とかかわりを持って解決していくことができる。 	

4 外部連携(地域連携)

様々な視点(要素)を学習に取り込む(協力を仰ぐ)アプローチの必要性



4 外部連携(地域連携)

～メリット(学校側のニーズ)

- 体験活動 ➡ ハードルが低くなる
- 人手 ➡ 体験活動には不可欠
- 特別教材 ➡ 技術的、内容的、数量的に用意が難しいもの
- 専門知識 ➡ その業種ならではの高度な専門知識、先端知識
- 専門技術 ➡ 体験活動において、より安全で簡易に行うコツ
- 意欲喚起 ➡ 教員、児童生徒の授業内容への意欲向上
- 成果 ➡ 資質・能力・態度の向上

4 外部連携 (地域連携)

～デメリット (学校側の不安、壁)

- 体験活動 ➡ やっておしまい!?!満足!?
- 人 手 ➡ どう配置するか事前の計画、謝金
- 特別教材 ➡ 1度しか利用できない? 課題解決に協力?
- 専門知識 ➡ 打ち合わせ必須、授業レベルのすり合わせ
- 専門技術 ➡ その人にしかできない
 - …課題解決に協力できるか?
- 意欲喚起 ➡ 適度な距離、難度が無ければ意欲喪失
- 成 果 ➡ 協力した活動を行って満足

4 外部連携 (地域連携)

学校と外部の不一致はどこから？

	学校側の論理	連携側の論理
(1)学校の教育活動の根幹	<ul style="list-style-type: none">・文科省の定める学習指導要領・標準となる学習内容・時間の提示	<ul style="list-style-type: none">・子供たちのためになる・できることはしてあげたい・これは大切なこと

何でもできるわけではない

4 外部連携(地域連携)

学校と外部の不一致はどこから？

	学校側の論理	連携側の論理
(2)教育課程 (カリキュラム)	<ul style="list-style-type: none">・年間を通した、教科・領域ごとの時系列となる指導内容を各学校で策定	<ul style="list-style-type: none">・人材・題材において今が一番よい時期・いつ学校に話すの？

突発的に授業や講座ができるわけではない
協力体制を検討するのは前年度年内

4 外部連携 (地域連携)

学校と外部の不一致はどこから？

	学校側の論理	連携側の論理
(3)学習のベース	<ul style="list-style-type: none">・教科書、資料集、施設等見学、外部講師	<ul style="list-style-type: none">・団体の立場、スタンス、理念・準備してある意図したプログラム

教科書の内容を大きく逸脱した学習は敬遠される

4 外部連携 (地域連携)

学校と外部の不一致はどこから？

	学校側の論理	連携側の論理
(4) 学びの場	<ul style="list-style-type: none">・学校(教室)、徒歩圏、社会科見学等・継続した場となるか	<ul style="list-style-type: none">・準備し出向くための時間や資金・子供の反応・一度やって満足

学校の地域環境資源を生かした
継続した学習活動

4 外部連携(地域連携)

学びの視点

- (1) 学ぶのは**子供**たち
- (2) 一度きりではない**継続**した学習への協働
- (3) 学校の地域環境に根差した学習こそが**郷土愛**を生む
- (4) 連携することが**目的**ではない
- (5) ねらいは子供たちが**資質・能力・態度**を身に付けること(≠知識)

4 外部連携 (地域連携)

学校が外部と繋がる手立て

- (1) 教育連携コーディネーターの活躍
- (2) 企業のCSR、NPO等の活用 (WEBでサーチ)
- (3) 地域のコミュニティセンター等運営委員会の活用
- (4) 保護者へのリサーチ
- (5) 学校間連携 (近隣大学、研究機関含)
- (6) 地域の販売店、店舗等
- (7) 突撃アポイントメント！ (教育には協力的なことが多い)

4 外部連携(地域連携)

学校側が協力を仰ぎたいこと

(1) 授業のねらいは何か

互いのニーズを具体的に確認しておくことが大前提

(2) 連携するメリットを最大限に活かす

必要なものは、知識？技能？活動手法？教材？…

(3) 単元の中で継続的な連携が可能か

学びの深化をもたらす継続的連携、発表招待 等

(4) 持続可能性

WIN=WIN の関係、引き継がれる学習活動

この学校の子供たちのためにという視点

4 外部連携(地域連携)

小さなことから連携を広げる

実践例 (多摩市立大松台小学校3年生～総合的な学習の時間)



現状

2
年
間

今後

- ・かぶと虫の幼虫をいただき、マイカブトムシを羽化させる学習
A公園のボランティアの活動維持の課題
教育連携コーディネーターに相談
市緑化施設のボランティアを統括する方を紹介される
からきだの道ボランティアの皆様が協力してくださることに
(他公園の2つのボランティアと連携を取りながら)
- ・かぶと虫を頂く、飼育、かぶと虫を放す、腐葉土づくり・・・
について年間通したアドバイスと実践
- ・からきだの道の整備、広報等、活動(夢)が広がる

4 外部連携(地域連携)

単元に沿って連携を広める

実践例 (多摩市立南鶴牧小学校4年生～総合的な学習の時間)



「環境大作戦」 環境問題に関わる課題を知り、探究学習により生活の改善を目指す

基礎

2
3
時間

探究

発信

実践

【基礎講座】

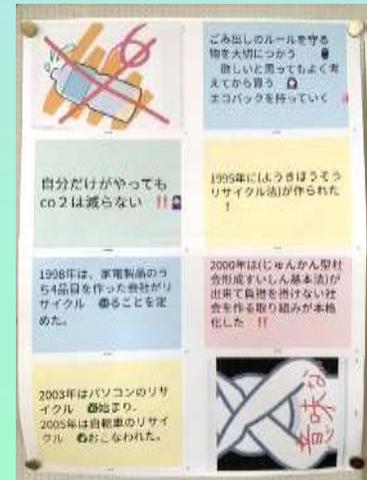
- ・ 地球温暖化防止コミュニケーター [温暖化]
- ・ 野鳥、小動物観察員 [外来種]
- ・ 公共リサイクル施設 [ごみ問題、マイクロプラスチック]
- ・ 環境教育に携わる方 (2) [酸性雨、放射能汚染]

【問題解決学習】

- ・ 興味関心のあるテーマを一つ決め、基礎講座でお世話になった方々の指導も仰ぎ、さらに探求を深める。

【発信】

- ・ 校内で3年生、保護者への発表及び掲示
- ・ 環境省・省エネ教育プログラム実証実験に参加 (家庭と一体となって取り組む)



4 外部連携(地域連携)

多様な連携先とともに

実践例 (多摩市立連光寺小学校4年生～総合的な学習の時間)

「川は自然の宝箱」 徒歩圏にある多摩川をフィールドとして1年間学ぶ

【基礎講座】

- ・ 多摩川市水辺の楽校
- ・ 自然観察指導員
- ・ あばれんぼキャンプ
- ・ 植物友の会
- ・ 建設技術研究所
- ・ 地域の専門家の方々

【問題解決学習】

- ・ 興味関心のあるテーマを一つ決め、基礎講座でお世話になった方々の指導も仰ぎ、さらに探求を深める。

【発信】

- ・ 校内で3年生、保護者、お世話になった方々への発表
- ・ 多摩川を学ぶ団体の発表会で学習の成果と多摩川への郷土愛の発信

【これから】

- ・ 大人になって、多摩川とどう接していくか

基礎

70時間

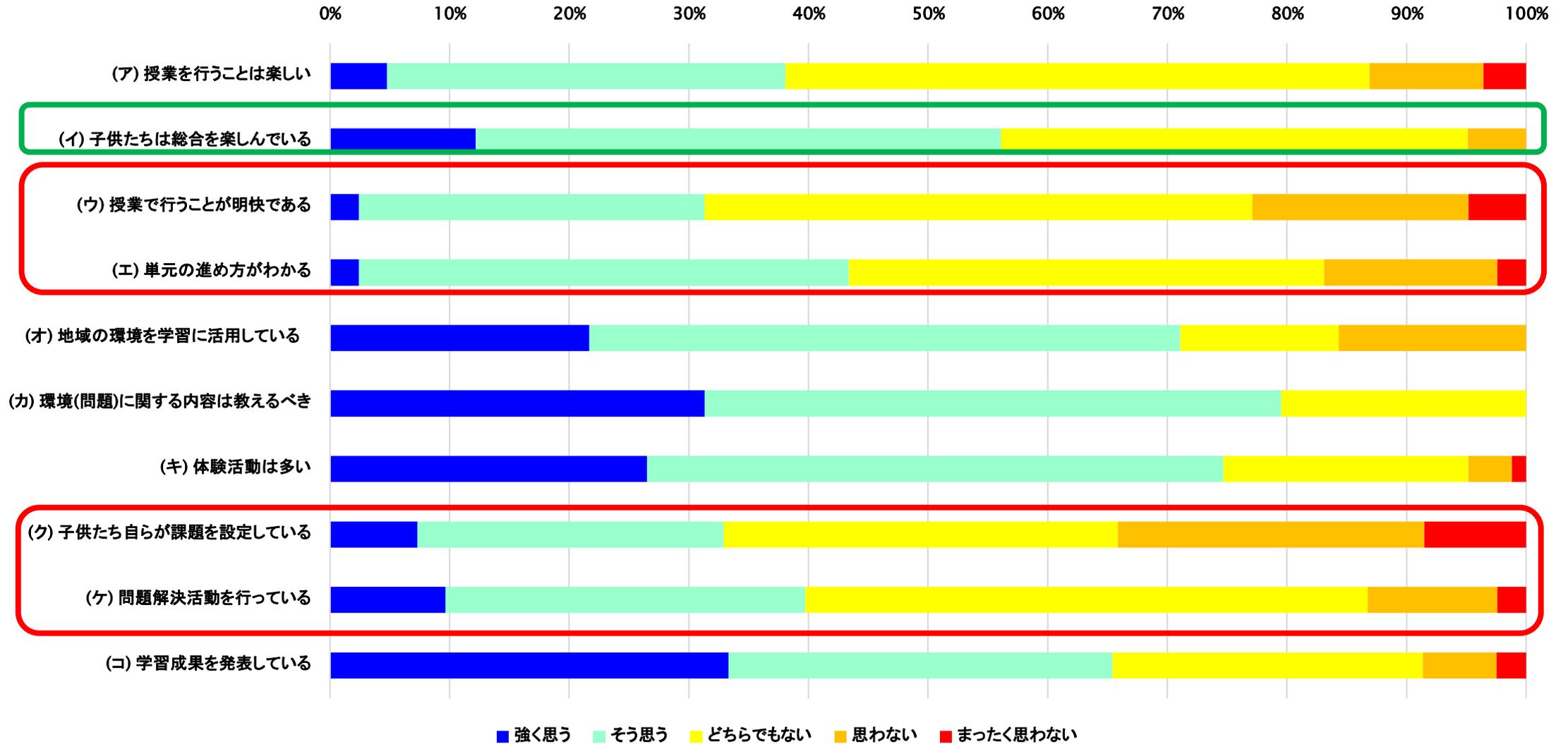
今後



4 外部連携(地域連携)

(H30都内小中学校教員調査 /200)

総合的な学習の時間の進め方について



5 まとめとして

- (1) 自校の問題解決学習の種は何か
- (2) 環境資源、社会資源、文化資源、人材資源はあるか
- (3) 持続開発していくのはモノばかりでなく、心のもち方も
- (4) 危機感をもてばもつほど実践したくなるが、行き詰まる
- (5) 題材を考える？題材で考える？
- (6) 結論(知識)ではなく、考える力、議論する力の向上(資質・能力・態度)
- (7) 外部連携を視野に多くの体験活動、問題解決学習が必要
- (8) 見聞きし、考え、話し合い、着地点を創造できる人間を
- (9) 環境を変えることのできる人間を育てる(人材育成)
- (10) 価値観をもった人間を育てる

注 意
自動二輪車
原動機付自転車
軽車両 歩行者
は通行できません
原子力防災対策本部

44.6

注 意
この先
帰還困難区域
(高線量区間を含む)

帰還困難区域

未来に挑む

資質・能力・態度を

全国小中学校環境教育研究会
多摩市立南鶴牧小学校
校長 関口 寿也
sekiguchi-toshiya@city.tama.ed.jp